

日本共産党の賛成討論（要旨）

おりひめバス改善、
少人数学級などで前進

新年度予算では、おりひめバスの東部・中部ルートとの統合、朝夕の増便、市民のニーズをふまえたルートの変更等、さらに利用しやすいバスへと改善充実を図られていることは大いに評価する。

また、小学校3年生までの30人以下学級の拡充や、小中学校の給食無償化、市役所本庁舎耐震改修工事などが進められることも重要な前進である。



防災拠点の整備
見切り発車でなく、全体計画をふまえた検討を

一方で、新年度の大きな事業となる防災拠点の整備については、土地開発公社の負債の削減や、市民の避難・活動場所、備蓄の確保などの趣旨は理解できるが、進め方について懸念がある。

1つは、防災拠点の整備工事費の根拠が弱く、今後、事業費の大幅な増加が懸念されることである。設計業務での事業費概算がまだ算出されていない現段階で、業者の見積もり程度で整備工事費が提案されているものが多い。労務単価が上がり、

建設資材も生コン、セメントなどが大幅に値上がりしている。今後、仮に事業費が増大する場合は、防災拠点の事業全体について、優先順位などの見直しが必要と考える。

2つ目に、防災拠点の全体計画が未確定の段階で、道路整備などに着手する進め方には懸念がある。1中跡地（私部南3丁目防災拠点）では、敷地内の専用道路や敷地外の前面道路拡幅工事が今年9月以降に予定されているが、敷地内の子育て支援センター（ルクセンブルクパピリオンの部材利用）はまだ基本計画も示されておらず、避難所・防災公園・消防団車庫等も設計業務の途中である。道路工事を見切り発車的に進めるのではなく、敷地内の計画全体を

踏まえた工程の組み直しが必要と考える。他の防災拠点についても、拙速にすすまず、市民に役立ち、喜ばれる施設になるよう、計画全体を踏まえて事業を進め、担当部署である危機管理室の体制を抜本的に強化することを求める。

ハラスメント根絶へ
真摯な取り組みを

職員によるハラスメント問題に関して、いま進められている第三者調査委員会の調査報告を受けた検証や改善を確実にすすめるとともに、全職員対象のハラスメント実態調査アンケートを実施し、実態の把握とハラスメント根絶をめざす取り組みを真摯に進めることを求める。

| 案 件 名 | 賛否の状況（○賛成 ×反対） | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|-------|----|----|
| | 共産 | | 公明 | | 未来 | | 対話 | | 維新 | | み交 | | | |
| | 血海 | 藤田 | 三浦 | 山下 | 中谷 | 野口 | 黒田 | 安部 | 松村 | 岡田(伴) | 堀 | 岡田(智) | 松永 | 坂本 |
| 令和8年度交野市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ |

※松本直高議員が衆院選立候補により失職し、1名欠員となっています。

※「未来」は未来創生会、「み交」はチームみんなの交野、「対話」はにじいろ対話の会
※坂本議員は議長のため採決に参加していません。